

やすみ

市議会だより

やっぱり野洲が好き



No.48

平成28年(2016年)11月

Contents 目次

- 一般質問 P2
- 委員会報告 P8
- 定例会審議結果 P12
- 出前懇談会・研修報告 P14
- 次回定例会予定 P16

一般質問

8月定例会で12人の議員が質問しました

平成28年8月25日開会の第3回8月定例会では、9月1日・2日の2日間で一般質問を行いました。

掲載内容は、代表的な質問、答弁の概要のみです。詳細は、市議会のホームページの会議録またはインターネット録画中継をご覧ください。



会議録は、市役所本館2階の情報公開コーナー、図書館、各コミセン等で閲覧できます。

また、上程された案件および審議結果は、12・13ページに掲載しております。



とう 郷 まさ あき
東 郷 正 明

◎就学援助の取り組みについて

問 文部科学省から市町村へ出された平成27年度の要保護児童生徒援助費補助金の事務処理についての通知では、速やかな支給に配慮することとあるが、本市では何月に支給されているのか。また、支給対象者の人数は。

答 就学援助制度の対象は、生活保護法に基づく要保護者と市町村教育委員会が要保護者に準じる程度に困窮していると認める準要保護者としている。準要保護者に対する就学援助費は、各学期末に支給しており、新入学児童生徒学用品費は7月に支給している。

また、支給対象者数は、平成28年7月1日現在で371人、そのうち新入学児童生徒学用品等の支給者数は小中学校合わせて89人である。

問 新入学児童生徒学用品費が7月支給では、4月の入学時に間に合わない。3月に入学準備金を支給しているところもあるので、改善できるはずだと思うが。

答 特に新入学児童生徒学用品等の部分が早期に支給できるか検討していきたい。

問 就学援助制度の申請は、年度途中でもできるのか。

答 年度途中でも随時受付をしている。

◎国民健康保険税滞納の取り扱いについて

問 本市の国民健康保険税の滞納件数と滞納者数、差押え件数は。

答 平成27年度の滞納件数は1万5,062件（1期を1件として数えた件数）である。滞納者数は1,047人（世帯）で、差押え件数は19件である。

問 滞納者が分納誓約をした場合、延滞金割増は停止されるのか。

答 延滞金の減免は、法令等で定まっており、それらを遵守して実施している。地方税法の徴収猶予等の規定によるものや、これを根拠とした野洲市税条例施行規則により、これらに該当した対象者には、延滞金を減免している。

問 分納誓約をした場合、延滞金割増はストップするべきだと思うが。

答 災害や事業の廃止等やむなく収入が得られない状況になった場合は、法令等により徴収猶予などの措置があり、延滞金の減免ができるが、それ以外の法令等に基づかないものは減免できない。個々に応じた相談により、分納という形で対応したい。



一般質問



矢野隆行

◎更なる低炭素社会に向けて公共施設へのLED照明導入について

問 温室効果ガスの削減については、2030年度目標を2013年度比の26%削減、2050年度目標を80%削減といった中長期の時間軸に沿った検討が必要であり、目標の実現には、中長期的な社会像の変化、技術開発、機器、施設、インフラの転換速度等をふまえてバックキャスト的に取り組むべきである。低炭素社会に向けた本市の取り組みと温室効果ガス削減についての見解は。

答 今議会に提案している第2次野洲市環境基本計画に盛り込んでおり、大枠はそれが本市の今の取り組みになる。今後10年間の中期的な取り組みとして、具体的には、公共施設等における照明のLED化など省エネ性能の高い製品の導入を進めるとともに、

事業所や家庭において、これらの製品の積極的な導入を啓発していく。

問 市内の防犯灯の現状は。

答 防犯灯の総数は775基で、水銀灯、蛍光灯の内訳は把握していない。平成27年度の防犯灯修繕料は、118万192円、防犯灯電気料金は、309万8,708円である。機器故障が判明した場合はLEDの交換を進めている。今後、防犯灯のLED化促進に向け、現状の把握を行うとともに、LED化によるコスト削減量の把握、あるいは事業手法も含め整理していく予定である。

問 LED化で電気料金がどの程度削減できるのか。

答 機種などによっても異なり正確には出せないが、一般的には3割程度削減できると見込んでいる。



LED外灯



蛍光灯式外灯

【その他の質問】 第5次地方分権一括法について・本市のオープンデータ推進の取り組みについて



丸山敬二

◎選挙制度変更の効果は

問 7月の参議院選挙から投票区の見直しがされ、全体の投票率は高かったがどのように評価しているか。

答 投票区の見直しでは、市内全体でバランスをとることを主眼にした結果、一定の成果があったと思う。

問 見直し時のパブリックコメントで、「高齢者の投票率低下が予想される。」との意見があったが所見は。

答 年齢別の投票率は把握していないが、再編が原因と考えられるような投票率の顕著な低下はなかった。

問 年齢が18歳以上20歳未満の投票率は。

答 全国平均45.45%に対し、本市は51.30%であった。

◎観光資源は活用できているか

問 JR野洲駅北口、南口に設置している観光案内図に現状と合っていないところがあるが。

答 指摘後に修正した。引き続き適正な管理に努める。

問 テレビドラマで妓王寺などがブームを呼んだが、最近観光への力の入れ方が低下している感がある。観光資源の活用についてどのように考えているか。

答 各種情報発信や、地元の熱意など継続的な取り組みと、持続性の観点からも拝観料等の受益者負担による経済的循環環境を整えることが重要と考える。

問 永原御殿跡地周辺の住民から、カワウのふん害等で困っていると聞いているが対策の状況は。

答 地元自治会館で専門家によるカワウ対策の研修会を開催したり、県等とも連携をとりながら有効な駆除対策について検討している。

問 永原御殿跡はどのような位置づけにしていくのか。

答 国の史跡指定に向けた条件整備を進めている。

問 本市の市勢要覧は、発行から年数も経過しており、観光面が弱い。見直す必要があると思うが。

答 他市も参考にし、更新の際には内容などの見直しを検討する。



永原御殿跡地案内板

一般質問



やまもと つよし
山本 剛

◎「障害者差別解消法」について

問 「障害者差別解消法」が4月から施行されているが、この法律についての職員への研修はなされたか。

答 障がいのある人への配慮は、これまでから日常業務で必要に応じた対応に心がけるようにしている。今後、この法律についての研修を考えていきたい。

問 啓発の対象は民間事業所も含むのか。

答 含まれないが、市が行う市民啓発が民間事業所への啓発にもつながると考える。

問 啓発スケジュールについては。

答 12月の「障害者週間」に合わせた啓発を予定している。

問 啓発の手法については。

答 12月に市の広報への掲載と街頭啓発を考えている。

◎児童館について

問 児童館の必要性についてどう考えるか。

答 中主および野洲児童館が整備され、今年3月末の閉館に至るまでの間、ほかに児童館を整備することはなかった。このことは、児童館に対する市民ニーズがそれほど高くなかった結果と認識している。

問 児童館についてニーズ調査が必要と考えるか。

答 平成25年度に小学校4年生以下の子どもをもつ保護者を対象として、無作為抽出の2千世帯に「教育・保育サービスの利用意向」等のアンケート調査を行った。その中で、土曜日に子どもを過ごさせたい場所に対する問いでは、児童館を選択した人は8.3%であった。この結果から児童館に対するニーズは高いとは言えないので、改めて調査する必要はないと考える。

問 将来的に児童館を設置する考えは。

答 子どもの居場所の確保については、学童保育所をはじめ、さまざまなサービスの提供に取り組んでおり、児童館ではなくほかのサービスで対応していく。



いながき せいすけ
稲垣 誠亮

◎新・野洲市立病院整備について

問 建設費の高騰、給与費の増加傾向などの見込みについて、従来の整備計画から事業費の高騰など現時点において大きな変化は発生していないか。

答 計画策定以降、大きな変化はない。

問 上下水道管や道路、公共施設の更新費用は膨大なものとなり、それは市民負担となる。水道事業に関しては、施設の更新費用に関連し水道料金の値上げも予定されており、先行きに不透明感がある。開院後30年、40年先と公共インフラの更新費用を試算したうえで、進めているのか。

答 市民病院事業は、今年度策定する公共施設等総合管理計画の趣旨に基づき、市の公共施設の一つとして包括的に適正な管理を行うことになる。

問 新・野洲市立病院整備に伴う現・民間野洲病院を更地にする際の取り壊しに関し、解体費用が発生す

るが、債務超過に陥っていた場合、市民の税金で対応する可能性がある。バランスシート上は現在、資産超過となっているが、解散となると建物の資産価値は資産計上からゼロとなり、解体費用を計上すると債務超過になる可能性がある。これらについて、現時点での想定を問う。

答 流動資産は医業未収金が約4億円、現金・預金が約1億円程度の見込みである。固定資産は法人所有の土地652㎡がある。流動負債は約2億円、固定負債は市の残債のみ1億5千万円程度残る可能性がある。

◎安心安全に出産するための周産期医療について

問 周産期とは、妊娠22週から生後満7日未満の期間をいい、この時期に母体、胎児、新生児を守るのが周産期医療である。本市の取り組み状況は。

答 妊婦健診の定期的な受診を勧奨し、妊娠リスクコアの活用を勧めることや健康教室、健康相談、家庭訪問等により安心して妊娠期が過ごせるよう保健師、助産師が中心となり支援をしている。

【その他の質問】 職員に愛される市長として・中高生の自習場所の確保について ほか



いわい ちえこ
岩井 智恵子

◎通学路の安全対策と学校整備について

問 以前から、危険とされながら、対策が講じられていないように見受けられる祇王小学校の近くにある新踏切と、それに近接している道路の安全性について市の考えを問う。

答 過去にも数回お答えしているように、鉄道管理者であるJR西日本と協議しているが、踏切と市道小篠原上屋線との交差点があまりにも近接していることから、立体交差として改良を要求され、現在の踏切形態での改良は協議に応じてもらえない状況である。また、立体交差を行うには地形



新踏切(上屋)

からして複雑な形状となることが考えられ、事業実施には厳しい状況である。こうしたことから、新駅設置の際に根本的な対策を行うのが最善であると認識している。

問 「野洲市通学路交通安全対策推進会議」が発足され、校区の危険箇所の点検をされているが、その推進会議がどのように生かされているのか。

答 推進会議については、1年前から取り組みを続けている。「野洲市通学路交通安全プログラム」を策定したことで、1点目として、保護者や自治会要望、学校現場からの意見などが集約された危険箇所の一覧がなかったが、集約することができた。2点目として、そのプログラムを保護者、地域や学校などに配布や公表することで、危険箇所の周知や、通学時の危険予知、注意喚起が可能となり、地域の通学路の見守り活動に生かすことができる。3点目として、推進会議を継続して進め、危険箇所の点検を実施し、更なる検証や把握を行い安全性の向上を図っていく。

【その他の質問】 市内小中学校の内線電話整備状況について



おおた けんいち
太田 健一

◎永原御殿の史跡整備による被害対策を

問 永原御殿跡の竹林や雑木林には、カワウなどの野生動物がすみつき、地域住民への騒音被害やふん尿による悪臭被害、さらには気管支炎などの健康被害まで起こっている。また、竹の根が近隣住宅に進入するなど地域の大きな問題となっている。

この竹林は民地のため、解決手段が複雑化しているが、単なる竹林の伐採だけでは根本的な解決にはならない。永原御殿は歴史的にも価値のある貴重な本市の財産であり、文化財として保護管理を行うことによって、野生動物の被害をなくし、文化や観光振興という点で地域活性化につながると考えるが。

答 地域住民や地権者との協議を続ける中で、国の史跡指定をめざして取り組んでいるが、地元の同意も必要で一定の年月がかかる。それとは別に、9月に県の補助事業への申請を行う予定で、承認が得られ

ば竹林伐採を含めた保全整備を行いたいと考えている。

◎南桜のバス停留所の改善を

問 南桜にある民間路線バスの停留所は、歩道や待合所もなく、交通安全上から見てかなり危険な場所である。民間業者のバス停留所のため市に権限はないが、地元やバス会社を含めた協議を行い、場所の移転などの対応を望むが。

答 停留所の設置場所については、市に指導の権限はないが、市民の安全性という観点からは話をしていきたい。



南桜バス停留所

◎スマートメーターによる電磁波過敏症への健康被害対策を

問 スマートメーターから大量に放出される電磁波による健康被害が全国的に問題となり始めている。電力会社に対してアナログ式電気メーターへの変更など、市として窓口やつなぎ役としての対応を求める。

答 現在そのような苦情や問い合わせはないが、市民生活相談課を通じて対応していく。



かじ やま いく よ
梶 山 幾 世

◎B型肝炎ワクチンの予防接種に公費助成を

問 本年10月から1歳未満の乳児に対し、B型肝炎予防の定期接種が決定した。我が国のB型肝炎ウイルスに起因する肝がんの死者数は年間約5千人、肝硬変による死者数は約千人、また、年間約6千人以上の新規感染者がいると推計されている。特に小児の感染者は無症状でも体液中のウイルスの量が多く、感染源になりやすい可能性がある。ウイルス感染後、キャリアに移行する確立は1歳未満の場合90%、1歳から4歳の場合は20%から50%、それ以上の年齢になると1%以下に激減する。幼児にB型肝炎ワクチンを接種すると95%以上で抗体が獲得され、感染防止効果は20年以上続き安全性も高いと言われている。

将来、肝硬変や肝がん発症の重症化を防ぐため、今回、定期接種の対象にならなかった3歳までの乳

幼児に、任意接種費用の一部公費助成を行い、経済的負担を軽くして任意接種への啓発を考えるが。

答 国は接種対象者の拡大の必要性を検討されており、幼児期の早い段階に感染すると、持続的な感染状態(キャリア)となる確立が高く、本市でも早期予防の課題を認識している。公費の一部助成については、予防効果、財源などを勘案し、対象年齢や助成方法等を検討していきたい。

◎母と子を守る産前産後ケアの体制を

問 国は、市町村に子育て世代包括支援センターを設置して妊娠期、産後期、育児期までの切れ目のない子育て支援に努めるとあるが、本市の体制と課題は。

答 妊娠期、産後期は保健師または助産師が必要に応じて支援プランを作成し、家庭訪問を実施。育児期は乳幼児健診、健康相談等により切れ目のない支援体制につながっていると考える。今後の課題として、センター設置の効果等を検討していく。

問 産後サポートについて、一人ひとりに寄り添う体制を。

答 本年4月より、セーフティネットとして、産後ケア事業でショートステイ、デイケアを実施している。



すず き いち ろう
鈴 木 市 朗

◎立地適正化計画とまちづくりについて

問 本計画は、野洲駅南口周辺において中核医療拠点・野洲市立病院を中心に都市機能誘導施設として都市再生整備計画に位置づけ、健康とにぎわいをテーマに南口を整備し、持続可能な都市構造を図るものとあるが、適正化計画の策定に係る弾力的運用とは。

答 都市計画区域に占める本市の市街化区域の割合は、12.7%と狭小である。本市の特殊な課題として、駅周辺は、未だに中心市街地が形成されていない。まず、駅前を中心に都市機能の集積を図っていかねばならない。また、平成24年に編入した市街化区域についても低・未利用地があり、それを抱えながら拡大というのは、論理的に難しいが、今回の立地適正化計画の中では、表面的なコンパクト化にと

らわれすぎず、必要な市街化区域の拡大も図ろうというのが、弾力的な運用である。

問 社会資本整備総合交付金の重点配分について。

答 今回、本市は立地適正化計画を策定し、その枠の交付金を使うということである。制度的には交付対象の事業費が21億円前提で、病院、立体駐車場、市民広場等の整備事業に対し、最大その2分の1まで交付金が見込めるということである。

◎野洲川北流側帯公園整備事業について

問 公園整備計画の見直しをされた理由は。

答 野洲川側帯にある築山の存置や、駐車場配置計画に際し、自然林の一部消滅の危惧などの意見・要望が寄せられ、市が計画していた多機能な公園の事業計画に影響があると判断し、中止することとした。

問 今後の環境ボランティアの活動支援は。

答 野洲川北流跡自然林育成協議会の環境保全活動や環境学習活動は、これまでどおり必要に応じ側面的な支援をしていく。

【その他の質問】環境教育の取り組みについて





野並享子

◎教職員の過重労働の解消について

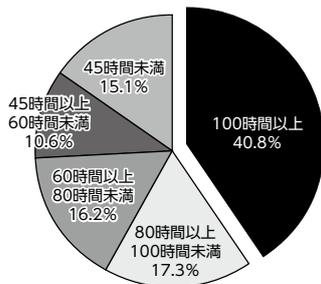
問 国は来年度、部活動の実態調査を実施し、部活動の休養日のあり方などのガイドラインを作成することとした。長浜市では、教職員の勤務で午後8時以降の退勤が14%。本市の勤務時間の実態はどうか。

答 現在の把握では、午後8時以降の退勤が33%である。

問 長時間労働は自己申告ではなく、タイムカードの導入が必要。また、給食費を公会計にすることが必要では。

答 タイムカードやICカードで客観的な把握が必要と考える。また、給食費は既に市の一般会計に組み入れており、学校の負担を軽くするため、給食費徴収の一本化を検討

部活動顧問をしている教員
1ヶ月の平均残業時間



【全国教職員組合の勤務実態調査2012】から

している。

問 部活動の改善が必要ではないか。燃え尽き症候群とか、勝利至上主義的な部活動は悪影響を与えていると思う。市教育委員会として指導されるのか。

答 行き過ぎた指導等や学習指導要領から逸脱する活動があれば、当然、指導する。

◎中立の教育とは

問 ある政党の公式サイトで「学校教育における政治的中立性についての実態調査」というタイトルのページがあり、「子どもたちを戦場に送るな」と中立性を逸脱した偏向教育をしている先生がいるとのこと。いつ、どこで、誰が、何を、どのようにと記入し、報告を求めるフォームがあった。これは偏向教育なのか。

答 日本国憲法は戦争の放棄を謳っており、「子どもたちを戦場に送るな」は当然のことだと考える。

問 政府の見解だけを教えるのは、戦前・戦中の教育ではないか。本市の今後の政治教育は。

答 授業では各政党の見解も提示して、その中で子どもたちが議論し、主体的に考えていく力を育てることが大切と考える。

【その他の質問】市民病院の建設と今後について・大規模地震災害における仮設住宅



上杉種雄

◎「防災4.0」未来構想プロジェクトの取り組みについて

問 内閣府は、「防災4.0」と名付け、激甚化が予想される災害を描き出す取り組みに着手。それから生じるリスクの検証をし、対策の提言を行うことをめざしているが、本市の取り組みの方向性を問う。

答 「防災4.0」の有識者提言は、非常に有効なものとする。本市の現在の防災対策とは別に新たな方向性が示され、必要と判断した場合は、防災計画の見直しや具体的な取り組みの検討も考えていく。

◎区域区分の随時見直しについて

問 本市の将来を見据えた都市計画の区域区分の随時

見直しの方針を問う。

答 区域区分の見直しは、最終、県が決定するもので、県が随時見直しの方針を定めている。本市としては、大津湖南都市計画の定期見直しで間に合わない特別な理由がある場合、県の方針に基づき関係機関と調整したうえで、可能であれば随時見直しの申し出を行う方針である。

問 区域区分の見直しと地区計画の関連性の方針は。

答 県が定めた方針の中で、見直しの際は、市街地開発事業、または地区計画の決定が可能な区域となっている。見直す際には、地区計画等の具体的な計画を策定し、計画的な整備を行っていく方針である。

問 地区計画の方針の変更で、市街化区域から市街化調整区域への逆編入もあり得るのか。

答 本市の都市計画区域に占める市街化区域の割合は12.7%と非常に狭小で、拡大に向け動こうとしている中、市街化区域の面積を狭めることは、現在想定していない。しかし、将来的に検討事案として出てくる可能性はゼロではないと考えている。

一般質問



きたむらいすず
北村五十鈴

◎“フッ化物洗口 ブクブク”の実施にむけて

問 80歳で20本以上の自分の歯を保つ8020運動、それは認知症予防や健康寿命にもつながる。そのためにも国は歯磨き以外にもフッ化物洗口を推奨している。特に4歳から14歳の園や学校における集団フッ化物洗口に対する本市の現状・認識について問う。

答 国が推奨していることは認識しているが、現在、市内の学校園では実施していない。

問 フッ化物洗口の安全性やむし歯の半減も証明されている。自治体の保健行政と位置づけ、行政予算で個人負担を減らし、すべての子どもたちにむし歯予

防の機会を与えてほしいと望むが。

答 学校保健委員会での話題の提供から進めていきたいと考えている。

◎“5歳児健診”の実施について

問 早期発見・早期療育が大切な発達障がいであるが、もっと大切なのは発達障がいに対する家族や周りの正しい理解と、支え合う地域のやさしさだと考える。

3歳までの健診では、集団行動における発達障がい は明らかにされにくく、5歳児すべての児童に実施される5歳児健診により、発達障がいに対する保護者の理解が進み、就学後の不適応をなくす支援も行えると考え。5歳児健診の実施を願うが、市の考えを問う。

答 現在、年齢に応じた発達相談支援に取り組んでおり、5歳児健診の実施は特に考えていない。



委員会報告

平成27年度決算や平成28年度補正予算、条例等の付託議案について、各委員会で慎重に審査しました。委員会審査で行われた質疑応答の内容の一部について、概要を掲載しました。

予算常任委員会総務分科会・総務常任委員会

◆平成28年度野州市一般会計補正予算 (第2号)

問 顧問弁護士謝礼が月額6万円から10万円に増額となるが、増額分の4万円の根拠は何か。また、顧問弁護士一人当たりの相談時間は何時間か。

答 増額については、もともと10万円であったものを集中改革プラン実施時に6万円に減額していた。相談件数の増加や相談内容の多様化、そして消費税増額分を考慮して、元に戻すものである。

相談件数については、平成25年度25件、平成26年度30件、そして平成27年度は34件である。相談内容は、主に法律の解釈論で、相談は弁護士との直接面談とメール等のやり取りで行っており、時間制限は設けていない。

問 この増額は4月に遡及して行われるのか。

答 本年4月に遡及をするものである。

◆滋賀県市町村交通災害共済組合規約の変更について

問 交通災害共済が平成29年度の加入をもって終了することであるが、年度別共済基金積立状況表では、基金積立は平成28年度(見込み)には約5億6,400万円あり、終了の時期をあと5年ぐらい延長できないのか。また、組合の解散後、残った基金はどうするのか。

答 毎年1億円強の見舞金が支給されているが、事業終了後2年間は、加入はなくなり、支給額だけが発生すると思われる。それらを見越して事業を終息されるもので、県下全体を眺めた制度設計の中で、平成30年3月31日が一番よいタイミングであると組合が判断されたものである。また、解散後、最終的には各市町に当初の拠出金や加入者の割合を算定し、清算される。

問 交通災害共済の加入者が減少した要因は。

答 自治会経由による加入者の減少や民間保険への加入者増加などが考えられる。

予算常任委員会文教福祉分科会・文教福祉常任委員会

◆平成28年度野洲市一般会計補正予算 (第2号)

問 病児保育施設整備事業補助金が計上されているが、その内容は。

答 市内に新たに開院される小児科医院で病児保育を計画されており、建物の1階が外来診療、2階に病児保育室と子育てサロンを整備される予定で、この事業の対象となる範囲について面積按分等により算出した補助金を計上した。

問 野洲第七こどもの家の来年度開所に向けての修繕工事の詳細は。

答 野洲第七こどもの家は、野洲小学校の敷地内にあり、野洲学区のこどもの家で最初に整備した施設である。その後、新たに第一から第六までこどもの家を整備し、現在は、新しい方の施設を利用している。しかし、児童数の増加により、第七こどもの家を使用する必要が生じてきたので、壁や床、トイレ等の改修、エアコンの修理などを行うものである。

問 中学校管理運営費で計上されている入場料とは。

答 野洲北中学校が修学旅行で九州方面に行く予定をしていたが、震災の関係で行先を関東方面に変更し、東京ディズニーランドへの入場料が必要になったことと、中主中学校の修学旅行についても東京ディズニーランドの入場料が改定されたことで、当初の見積額から金額が上がったため、あわせて計上した。

◆野洲市図書館条例の一部を改正する条例

問 図書館協議会の委員のところで、新たに「教育委員会が必要と認める者」という条文を加えた理由は。

答 図書館協議会の委員に、公募委員などを入れたいということで、加えることにした。協議会に公募委員を入れることは、全国的な流れでもあるが、本市としても市民の意見を図書館の運営に反映したいということで、今回、改正するものである。



野洲図書館

予算常任委員会環境経済建設分科会・環境経済建設常任委員会

◆平成28年度野洲市一般会計補正予算 (第2号)

問 野洲川北流側帯公園の整備は中止せず、一部でも自然公園などに活用できる手立てはないのか。

答 公園整備は中止という判断をした。側帯地は野洲川の防災機能を有する土地であり、今後国で検討する整備にあわせて、市が別途土地利用できるのか引き続き国と協議していく。

これに関連して、委員から、この地域はかつてゴミ捨て場であったが、環境団体が苦勞して、人が散歩できるような道の形態まで整備した。自然公園として整備するのが一番よいとの意見があった。

◆野洲市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

問 企業会計にしていくに当たり、体制の整備と進捗状況は。

答 資産評価が終り、システム導入を進めている。

問 移行に向けての職員の研修は。

答 9月14日に関係課職員の研修を実施する。

問 一般会計からの繰り入れはどうか。

答 基準内繰り入れはこれまでどおり行う。

◆第2次野洲市環境基本計画の策定について

問 基本目標3のプロジェクト10に有害鳥獣対策とあるが、イノシシ被害が多くあり、予算をつけて対策が必要では。

答 捕獲のかごを補正予算に計上した。

問 1次計画(平成19年3月策定)との大きな改善点は。

答 1次計画のときには、市民活動家など約50人の委員が意見を積み上げ、24プロジェクトをまとめた。2次計画では各プロジェクトを整理し、国や県の動向などをふまえ、体系的にまとめ直し、平成29年から10年間を見通した行動指針を示した。



決算特別委員会総務分科会

◆平成27年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 「決算審査意見書・財政健全化審査意見書」の中で、経常収支比率は82.2%になり、前年度より改善したとあるが、改善した要因は何か。

答 一番大きな要因は、法人市民税の伸びによるもので、それにより一般財源の収入が増額となった。

問 第3次野洲市男女共同参画行動計画ダイジェスト版の印刷代が計上されているが、第2次(平成23年3月策定)からの変更点は何か。

答 女性活躍社会という視点に立って計画したもので、庁内各審議会での女性の参画割合を40%に近づけることや女性管理職の登用と自治会組織での女性の役員の就任を増やしていくことをめざしている。

問 不審者情報メール配信サービスで配信した情報内容は。また、登録者数と配信件数は。

答 登録者に、事案の発生場所や時間などを簡潔明瞭に配信しており、登録者数は1,591人で、配信件数は39件であった。

問 コミュニティバスの利用者数は、平成26年度

と比べ、約1,200人減少しているが要因は何か。

答 障がい者の利用が減少しており、要因として、自家用車やタクシーなどの利用があったのではないかと考える。

問 生活困窮者支援事業費の学習支援事業委託の状況と今後についてはどうか。

答 学習支援事業への参加の状況は、中学生30人、小学生は5人であった。また、子どもの学力に合わせた学習指導を行った。今後は、支援いただくボランティアの人数を増やしていきたい。

問 災害対策用の備蓄品には、野洲産米が使用されているのか。また、保管場所はどこか。

答 備蓄品の米は、アルファ化したものを使用。加工プラント等の施設が必要となるので、現在、野洲産米の使用はない。備蓄場所は、総合防災センター(辻町)、野洲防災センター(市三宅)、中主防災コミュニティセンター(西河原)である。



野洲防災センター(コミュニティセンターきたの隣接)

決算特別委員会文教福祉分科会

◆平成27年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 民生委員児童委員の人数が定数119人に対し、114人だが、定数に達していないのはなぜか。

答 マンションなど若い世代の多い自治会では、推薦依頼をしても仕事や子育てなどの理由から、適任者がいなくて推薦が上がってこない。そのことが欠員の生じている大きな原因と考える。

問 母子家庭等高等職業訓練促進事業では、看護師等の資格取得者は何人ぐらいあったのか。

答 看護師の資格取得者が2人あった。

問 部落解放をめざす女性のつどい委託料の内容は。

答 女性のつどいは、実行委員会組織で取り組んでおり、その実行委員会と委託契約を結び委託料を支払っている。主には、女性のつどい終了後に発行する機関紙にかかる経費である。

◆平成27年度野洲市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 人間ドックの受診件数は当初の目標に対してどのような推移となっているのか。

答 人間ドック単独での目標数値は設定していないが、特定健康診査の受診者としてカウントすることができ、特定健康診査受診の目標数値の設定が60%で、実際の受診率が50%以上となり、この中には人間ドック受診者も含まれていることになる。

問 財政調整基金への積立額が昨年度末で約2億3,700万円となっているが、平成27年度から全国で1,700億円の国庫の国民健康保険への補てん拡充が図られており、それと合わせて国民健康保険税を1世帯5千円ぐらい引き下げられるのでは。

答 国民健康保険への財政支援の拡充で、本市に換算すると昨年度、保険基盤安定繰入金で約5千万円の増加となっている。それでも昨年度は、実質2千万円の基金の取り崩しとなっており、そこに全国で1,700億円の資金が投入されたとしても、なおまだ資金不足が生じる中で税率を無理に引き下げるのは、保険財政の健全化に影響が出るのではと考えている。

決算特別委員会環境経済建設分科会

◆平成27年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 プレミアム商品券について小売店と大型量販店で利用した割合を把握しているか。

答 全体2億1千万円のうち大型店舗での利用は9,982万円、47.5%である。

問 湖南広域行政組合では、平成29年度で汚泥の焼却を廃止するとのことだが、その後はどう対応するのか。

答 民間委託の方向で検討されている。施設を改修して続けていくのは困難との判断である。

問 蓮池の里グラウンドゴルフ場の維持管理業務委託料と、蓮池の里公園等の除草作業委託料が、別に地元自治会に支払われているのはなぜか。

答 グラウンドゴルフ場の維持管理業務は、火曜日と年末年始を除く毎日の作



蓮池の里多目的公園グラウンドゴルフ場

業として、芝とコースの整備を自治会に委託、除草作業は年3回、自治会に委託しており、業務内容に違いがあるためである。

問 急傾斜地崩壊対策事業の対象地は市内に何か所あるのか。システムはどこに設置されているのか。急傾斜地付近の住民には知らせているのか。

答 市内の急傾斜地は29か所で、市役所の前と県道野洲甲西線の近江富士団地地先に電光掲示板がある。事業の一つであり、付近の住民には知らせていない。

問 高齢者向け優良賃貸住宅の家賃はいくらで、補助率はどうか。高齢者の選考方法は。

答 家賃は6万5千円から7万円で、補助は概ね3分の1。選考は、60歳以上の単身者、60歳以上の夫婦世帯、または、60歳以上の人に40歳以上の親族が同居という基準がある。

◆平成27年度野洲市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 下水道未整備地区はどのくらいあるのか。

答 篠原駅前の公団混乱地区、吉川地区の一部などを除き、市内のほとんどで整備ができています。

●野洲市の

決算認定の流れ

自治体の決算とは、会計年度（毎年4月から翌年3月までの期間）の予算を執行した結果や実績を示したものです。

5月末の出納閉鎖期日までに、決算の会計処理を行い、会計管理者は、決算書や付属書類を作成し、市長に提出します。

7月に監査委員は、決算審査を行い、決算審査意見書を作成します。

市長は、決算認定の各議案を監査委員の意見書を添えて8月議会へ提出します。

議会へ提出された決算認定の各議案は、決算特別委員会での審査後、質疑や討論を経て各会計ごとに採決

し、認定します。



決算特別委員会

平成27年度野洲市各会計決算の状況

会計	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
一般会計	243億2,702万4,532円	237億8,460万1,653円	5億4,242万2,879円
特別会計	141億3,436万150円	138億8,243万7,717円	2億5,192万2,433円
合計	384億6,138万4,682円	376億6,703万9,370円	7億9,434万5,312円

水道事業会計	収入額	支出額	収支差引額
収益的収支	9億24万1,215円	8億8,290万2,640円	1,733万8,575円
資本的収支	2,461万1,388円	2億3,093万7,246円	△2億632万5,858円

※不足額については、過年度分損益勘定留保資金、消費税および地方消費税資本的収支調整額で補っています。

※平成27年度決算状況の詳細については、広報やす 11月号をご覧ください。

平成28年 第3回定例会の提出案件の審議結果

平成28年8月25日開会の第3回定例会では、議案23件（決算11件、補正予算6件、条例改正2件、その他4件）、意見書7件について審議しました。また、議員発議1件の提案を行いました。



■ 全員賛成で認定・可決した案件 【市提出議案】

分類	議案番号	件名	審議結果
決算	議第61号	平成27年度野洲市地域医療振興資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議第62号	平成27年度野洲市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議第63号	平成27年度野洲市墓地公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議第64号	平成27年度野洲市基幹水利施設管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議第65号	平成27年度野洲市工業団地等整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議第66号	平成27年度野洲市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議第67号	平成27年度野洲市水道事業会計決算の認定について	認定
補正予算	議第69号	平成28年度野洲市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
	議第70号	平成28年度野洲市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
	議第71号	平成28年度野洲市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	議第72号	平成28年度野洲市墓地公園事業特別会計補正予算（第1号）	可決
	議第73号	平成28年度野洲市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
条例	議第74号	野洲市図書館条例の一部を改正する条例	可決
	議第75号	野洲市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決
その他	議第76号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて（こどもの家）	可決
	議第77号	滋賀県市町村交通災害共済組合規約の変更について	可決
	議第78号	第2次野洲市環境基本計画の策定について	可決
	議第79号	野洲市監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて	同意

【議員提出案件】

分類	議案番号	件名	審議結果
発議	発議第2号	野洲市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決

■ 賛否が分かれた案件 ○：賛成 ●：賛成しない

【市提出議案】

(議員名は議席番号順)

分類	議案番号	件名	審議結果	稲垣	北村	中塚	岩井	高橋	太田	野並	東郷	栢木	上杵	市木	山本	丸山	鈴木	矢野	梶山	坂口	河野	立入	
決算	議第57号	平成27年度野州市一般会計歳入歳出決算の認定について 歳入決算額 243億2,702万4,532円 歳出決算額 237億8,460万1,653円	認定	●	○	●	○	○	●	●	●	○	●	—	○	○	○	○	○	○	●	○	●
	議第58号	平成27年度野州市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入決算額 55億1,578万2,248円 歳出決算額 54億3,403万7,295円	認定	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第59号	平成27年度野州市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入決算額 4億9,381万4,338円 歳出決算額 4億8,270万8,767円	認定	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第60号	平成27年度野州市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入決算額 36億3,995万3,327円 歳出決算額 36億1,711万5,629円	認定	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	議第68号	平成28年度野州市一般会計補正予算(第2号) 〔歳入〕減収補てん特例交付金の決定 ほか 〔歳出〕平成27年度決算剰余金の1/2相当額を財政調整基金へ積立て ほか 補正額 2億8,318万2千円の追加	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	—	○	○	○	○	○	○	●	○	●

【議員提出案件】

分類	番号	件名	審議結果	稲垣	北村	中塚	岩井	高橋	太田	野並	東郷	栢木	上杵	市木	山本	丸山	鈴木	矢野	梶山	坂口	河野	立入	
意見書	意見書第12号	臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める意見書(案)	否決	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	—	○	○	○	●	●	●	●	●	●
	意見書第13号	同和問題の解決に逆行する『部落差別固定化法案』の制定を行わない事を求める意見書(案)	否決	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	意見書第14号	「要介護1・2」の「保険外し」を中止し、安心・安全の介護保障の実現を求める意見書(案)	否決	●	○	●	●	●	○	○	○	●	●	—	○	○	○	○	●	●	●	●	●
	意見書第15号	米軍北部訓練場ヘリパッド建設に関する意見書(案)	否決	●	●	○	●	●	○	○	○	●	●	—	○	○	○	○	●	●	●	●	●
	意見書第16号	返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	意見書第17号	南スーダンへの「安保法制」発動を許さない意見書(案)	否決	●	○	○	●	●	○	○	○	○	●	●	—	○	○	○	○	●	●	●	●
	意見書第18号	緊急事態条項の新設に反対する意見書(案)	否決	●	●	○	●	●	○	○	○	○	●	●	—	○	○	○	○	●	●	●	●

※議長(市木一郎 議員)は採決に加わりません。



今日の会議は9時開会予定です。
<http://www.yasu-city.stream.jfit.co.jp/>

本会議の映像は、野洲市のホームページから市議会のページを開いていただくご覧いただけます。
配信は、ライブ中継と録画中継になります。
録画中継は、約1週間後から配信します。
また、会議録は市議会のホームページ、市役所情報公開コーナー、図書館、各コミセン等で閲覧できます。

インターネットで
本会議の映像を
配信しています



出前懇談会を実施しました

平成28年8月17日（水）に新病院を望む女性の会との出前懇談会を実施しました。

野洲政風会所属の議員が出席し、新病院整備について懇談しました。当日は、傍聴の皆さんを含め多くの参加がありました。

会場：野洲市役所本館3階 第1委員会室



野洲市議会では、市政の重要課題等をテーマに、議員が出向いて市民の皆さんのご意見等を直接お聴きする「出前懇談会」を年間通して実施しています。

概ね5人以上の市内在住または在勤している人で構成する団体やグループが対象で、1回につき2時間以内とします。開催期日の20日前までにお申込みください。

詳しくは野洲市議会事務局まで。(TEL 077-587-6034)

文教福祉常任委員会行政視察研修 7月21日・22日

【愛知県東海市】

●未婚者支援対策について

東海市では、少子化対策の前段階の支援策として未婚者支援対策を総合的に推進されている。名鉄太田川駅前の市民交流プラザ内に、平成23年4月「結婚応援センター」を開設し、自主事業、NPO、サポーターによる事業で多種多様な出会いの場を創出している。妊娠・出産・子育て支援につながる効果的な取り組みを実践されている。



東海市民交流プラザ

【愛知県常滑市】

●市民病院整備事業について

常滑市では、老朽化した常滑市民病院の新たな整備について、基本構想、基本設計の段階から市民の意見を反映した病院づくりに取り組み、平成27年5月に新病院（267床）が開院、「コミュニケーション日本一の病院」をめざした取り組みを推進されている。

新病院は、屋上リハビリ庭園やすべてのベッドに窓がある個室の4床室など随所に工夫がみられた。

現在は140人以上の市民が病院ボランティアとして幅広い分野で活躍されている。市民の力が大きな支えとなっており、本市でも学ぶべき事例と考える。

【岐阜県各務原市】

●寺子屋事業について

●複合福祉施設「福祉の里」現地視察

各務原市の寺子屋事業は、「基礎学力定着」、「福祉体験学習」、「ふるさと歴史発見」、「ものづくり人材育成」、「地域ふれあい」を5つの柱とする地域や企業と連携した全庁的な子育てに関する事業である。今回は、主に教育委員会の基礎学力定着事業を中心に説明を受けた。子どもたちが楽しく学べ、学力向上につながる事業を展開されている。

次に複合福祉施設「福祉の里」を視察した。この施設は市が設置し、社会福祉事業団が管理運営しており、子どもから大人まで障がいのある人の生活介護、福祉型と医療型の発達支援を行っている。複合施設のメリットとしては、情報の共有により、将来を見通した途切れのない支援ができることなどがあるが、デメリットは特にないと話されていたのが印象的であった。

環境経済建設常任委員会行政視察研修 8月1日・2日

【富山県射水市】

●長期包括管理による清掃センター施設の運営について

射水市にあるクリーンピア射水は、本市のクリーンセンターと同様に長期包括管理を採用し、従来の委託形式と比べ、民間事業者の創意工夫により、中長期的な運営が低コストで効率的に行われている。

また、併設のリサイクルプラザでは、粗大ごみのリユースやボランティアによる「おもちゃのお医者さん」、ペットボトルロケットづくりなどの親子でリサイクル体験ができる部屋もある。本市もこのような施設を併設しており、今後の事業展開の参考となった。

【石川県加賀市】

●公立病院の整備と運営について

加賀市の加賀医療センターは、今年4月開院の300床の公立病院である。基本構想で3候補地を検討した結果、土地の単価は高いが、災害に強く交通アクセスの充実した駅周辺となり、開院後、病院スタッフや外来患者などを含め、駅前商業施設の客が増加したとのことである。

実施設計時にモックアップ（モデルルーム）をつくり、職員や市民の意見を聞き、女性アドバイザー一部会を3回行い、女性の意見も反映したとの

ことである。

入院ベッドは全室個室で、差額ベッド料がないことには賛否両論がある。6年目から黒字という想定になっているが、入院等の単価が設定より低いのが課題である。診療内容を調査し検討すると話されていた。

館内は、広い廊下と案内表示の大きさが印象に残った。民間のレストランや売店はプロポーザルで業者選定されている。本市でも参考となる事例が多くあった。

【福井県あわら市】

●清掃センター余熱利用施設の運営について

あわら市の余熱館ささおかは、3市1町（福井坂井地区広域市町村圏事務組合）の粗大ごみ処理施設で、焼却炉の余熱を利用した25mの温水プールや流水プール、温浴施設があり、月9千人前後の利用がある。余熱を有効活用した事例について学ぶことができた。



余熱館ささおか

議会改革推進特別委員会行政視察研修 8月9日

【三重県四日市市】

●議会モニターを含む議会改革について

議会改革に先進的に取り組んでいる四日市市議会を訪問し、議会モニター制度を含む議会改革について視察研修を行った。

四日市市議会では、議会モニター制度を平成16年度から始めており、仕事内容は、市議会本会議や常任委員会等を可能な限り傍聴またはインターネット中継で視聴し、意見を文書で提出、議会運営等に関する意見や提言を随時文書で提出、各種研修会への参加などがある。任期は1年としている。人数は市内24地区からそれぞれ1～2人推薦。一般公募10人程度。四日市大学から5

人程度の合計50人程度である。

議会は通年議会としており、議会期間中を除き文書により執行部への質問も行うことができる。

本市でも、議会改革を進めていく中で、四日市市の先進的な取り組みを参考として、市民にも議会に参加していただく取り組みについて、今後も引き続き調査研究を行っている。



四日市市役所

今後の議会予定

月日	曜日	種別	開議時刻	摘要
11月8日	火	本会議	9:00	臨時会
11月29日	火	本会議	9:00	上程議案の提案説明
12月6日	火	本会議	9:00	議案質疑、一般質問
		委員会	本会議終了後	予算常任委員会
7日	水	本会議	9:00	一般質問
8日	木	本会議	9:00	一般質問(予備日)
9日	金	委員会	9:00	委員会審査
12日	月	委員会	9:00	委員会審査
13日	火	委員会	9:00	委員会審査
20日	火	委員会	9:00	予算常任委員会
22日	木	本会議	13:00	委員長報告、質疑、討論、採決

※上記日程は都合により変更する場合があります。

写真募集

「やす市議会だより」の表紙に掲載する写真を募集しています。どなたでも応募可能です。応募方法は野洲市議会事務局まで。



傍聴のご案内

傍聴を希望される方は、原則、自由に議場または委員会室(野洲市役所本館3階)の傍聴席にお入りいただくことができます。



No.48

発行日/平成28年11月1日
発行/野洲市議会
編集/議会だより編集委員会
〒520-2395
滋賀県野洲市小篠原2100番地1
TEL (077) 587-6034
FAX (077) 586-4300
メール gikai@city.yasu.lg.jp
野洲市議会ホームページ

野洲市議会

検索

市議会だよりに関するご意見・ご感想をお待ちしております。

クロスワードパズル

【問題】

①		②	③	
(C)		⑦		
⑧(B)	④(A)			⑤
⑨		⑥		(D)
		⑩		

(A)	(B)	(C)	ピ	ッ	(D)
-----	-----	-----	---	---	-----

ヒント: NEXT TOKYO

※最終問題の解答は次号(2月号)に掲載します。

【タテのカギ】

- ①大津市にある標高848mの比叡山全域を境内とする最澄が開いた寺院は。○○○○ジ。
- ②空から降る白い○○。滋賀県最高峰の伊吹山が1927年2月14日に記録した1,182cm積もった量は、世界山岳気象観測史上1位のギネス記録。
- ③滋賀の400年の伝統のある郷土菓子。こし餡に包まれ、三角に形作られた餅の頭に白餡が飾りとしてのっている。○○モチ。
- ④○○島は日本唯一の淡水湖有人島。琵琶湖最大の島で、猫が多いことでも話題となっている。
- ⑤大坂商人・伊勢商人と並ぶ日本三大商人、近江商人。『売り手よし 買い手よし 世間よし』三方よしは近江商人の○○(=戒めや教え)。
- ⑥大津市の日吉大社の門前に位置し、古くから栄えた○○モト。穴太衆(石工集団)による頑丈な石垣があり、全国の城郭に広まった。

【ヨコのカギ】

- ①野洲市を流れる家棟川。体験型の自然環境学習にもなる手漕ぎ屋形船。○○○○ンセン。(ヒント:○○=環境の○○ロジー + ○○○ンセン=観光地の旅客船)
- ⑦毎年4月22日に行われる五穀豊穣を祈る多賀大社の「多賀まつり」。みこしや、神楽の舞姫、護衛の隨身、○○(=馬に乗ること、また乗っている人)の女武者らが町内を練り歩く。
- ⑧2016年8月5日に開幕した○○五輪。滋賀県ゆかりの選手や日本代表選手のオリンピック・パラリンピックでの活躍が楽しめました。
- ⑨滋賀県長浜市周辺に伝わる郷土料理。○○パソウメン。(ヒント:焼いたある魚を甘辛く炊き込み、そのだし汁で茹でたそうめんの上のにせたもの)
- ⑩野洲川は、滋賀県を流れる淀川水系の一級○○。琵琶湖への流入河川では最長。通称:近江太郎。

【最終問題】 解答の(A)(B)(C)(D)を埋めたワードは?